

Citrix Receiver for Android 3.10について

Jan 20, 2017

Citrix Receiver for Androidを使用すると、タッチ対応アプリケーションを含む仮想アプリケーションやデスクトップに外出先からタブレットやスマートフォンでアクセスできるようになり、タブレットをデスクトップコンピューターの代わりとして使用する頻度を抑えられます。

[Google play](#)からダウンロードできる最新のバージョンのCitrix Receiver for Androidは3.10です。以前のバージョンを実行しているユーザーはこの最新バージョンに更新する必要があります。Citrix Receiver for Androidを更新またはインストールするために優先されるのは、Androidデバイスを使った[Google Play](#)を使用する方法です。この方式を採用すると、新しいバージョンを入手できるようになると、自動的に更新することができます。

Citrix Receiver for Androidは、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、簡体字中国語、韓国語、イタリア語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、デンマーク語で表示できます。

Citrix Receiver for Android 3.10の新機能

このリリースでは、以下の新しい機能および強化機能を提供し、以前報告されたさまざまな問題を解決し、操作性を向上させます。

- 新しいユーザーフィードバックチャネル
- ストアアカウントを追加するプロセスの向上
- Androidのイマーシブウィンドウモードのサポート (Android 4.4以降)
- Androidネイティブのマウスカーソルのサポート (Android 7.0)

解決された問題

Jan 20, 2017

バージョン3.10で解決された問題

このリリースでは、以前に報告された問題は解決されていません。

既知の問題

Jan 20, 2017

バージョン3.10の既知の問題

バージョン3.10では、以下の既知の問題が確認されています。

- [アカウントの切り替え] メニューから [すべてをログオフします] を選択すると、強調表示されたアカウントのみがログオフする可能性があります。この問題を避けるには、[リソース] 画面からログオフしてください。[アカウントの切り替え] メニューを使用している場合は、アカウントごとにログオフします。

[RFANDROID-544]

システム要件

Jan 20, 2017

デバイスの要件

Citrix Receiver for Android 3.10はAndroid 4.0 (Ice Cream Sandwich) 、 4.1/4.2/4.3 (Jelly Bean) 、 4.4 (KitKat) 、 5.0/5.1 (Lollipop) 、 6.0 (Marshmallow) 、 7.0 (Nougat) をサポートします。

デバイスのAndroidオペレーティングシステムを最新バージョンにアップデートしてください。

Citrix Receiver for Androidは、WebブラウザがReceiver for Webと連携している場合、セッションの開始をサポートしません。セッションが開始しない場合、Citrix Receiver for Androidを介して直接アカウントを構成してください。

Citrix環境への接続の保護については、「接続」に関する説明を参照してください。

Important

Citrix Receiver for AndroidのTechnology Preview版がインストールされている場合は、これをアンインストールしてから新しいバージョンをインストールします。

サーバーの要件

StoreFront :

- StoreFront 3.8 (推奨) 、 3.7、 3.6、 3.5、 3.0、 2.6
StoreFrontストアへの直接アクセスを提供します。 Receiverでは、前バージョンのStoreFrontもサポートされます。
- Receiver for Webサイトが構成されたStoreFront
StoreFrontストアへのWebブラウザからのアクセスを提供します。 この展開方法での制限事項については、StoreFrontのドキュメントを参照してください。

Web Interface (XenDesktop 7以降の環境ではサポートされません) :

- Web Interface 5.4とWeb Interfaceサイト。
- Web Interface 5.4とXenApp Servicesサイト。

NetScaler上のWeb Interface :

NetScalerで提供されるリライトポリシーを有効にする必要があります。

XenAppおよびXenDesktopの以下のバージョン :

- XenApp 7.x
- XenApp 6.5 for Windows Server 2008 R2
- XenApp 6 for Windows Server 2008 R2
- XenApp 5 for Windows Server 2008
- Citrix Presentation Server 4.5
- XenDesktop 7.x
- XenDesktop 7

- XenDesktop 5、5.5、および5.6

接続性

Citrix Receiver for Androidでは、以下の設定のいずれかを使用して、XenAppサーバーファームにHTTP、HTTPS、およびICA-over-TLS接続を確立できます。

LAN接続の場合：

- StoreFront 2.6、3、3.5、3.6、3.7、または3.8（推奨）
- Web Interface 5.4
- XenApp Services（旧称「Program Neighborhood Agent」）サイト

安全なリモート接続の場合（次のいずれかのバージョン）

- Citrix NetScaler Gateway 10および11（VPX、MPX、およびSDXバージョンを含む）
- XenMobileはバージョン9および10でのみサポートされます。

セキュリティが保護された接続とTLS証明書について

TLSを使用してリモート接続を保護する場合、モバイルデバイスはリモートゲートウェイのTLS証明書の信頼性を、信頼されたルート証明機関のローカルストアと照合することで検証します。証明機関のルート証明書がローカルのキーストアに存在する場合は、民間の証明機関（VeriSignおよびThawteなど）が発行した証明書が自動的に検出されます。

プライベート（自己署名）証明書

リモートゲートウェイにプライベート証明書がインストールされている場合は、組織の証明機関のルート証明書をモバイルデバイスにインストールしないと、Citrix ReceiverでCitrixリソースにアクセスできません。

注意

接続時にリモートゲートウェイの証明書を検証できない場合（ローカルのキーストアにルート証明書が含まれていないため）、信頼されていない証明書の警告が表示されます。ユーザーが警告に対してそのまま続行することを選択した場合は、アプリケーションの一覧が表示されますがアプリケーションが起動しません。

ワイルドカード証明書

ワイルドカード証明書は、同一ドメイン内の任意のサーバーで個別のサーバー証明書の代わりに使用します。Citrix Receiver for Androidでは、ワイルドカード証明書がサポートされています。

中間証明書とNetScaler Gateway

証明書チェーンに中間証明書が含まれる場合は、中間証明書をAccess Gatewayのサーバー証明書に追加する必要があります。使用するAccess Gatewayのエディションに関するKnowledge Centerアートを参照してください。

[CTX114146: How to Install an Intermediate Certificate on NetScaler Gateway](#)

eDocsのこのセクションの設定のトピックに加えて、次のトピックも参照してください。

[CTX124937: How to Configure NetScaler Gateway for Use with Citrix Receiver for Mobile Devices](#)

注意

RSA SecurID認証は、Secure Gatewayを使用する構成ではサポートされません。RSA SecurIDを使用するにはNetScaler Gatewayを使用してください。

Citrix Receiver for Androidでは、使用するNetScaler Gatewayのエディションに応じて以下の認証がサポートされます。

- 認証なし (StandardおよびEnterprise Editionのみ)
- ドメイン認証
- RSA SecurID (Wi-Fi接続および非Wi-Fi接続でのソフトウェアトークンを含む)
- RSA SecurIDを組み合わせたドメイン認証
- SMSパスコード (OTP) 認証
- スマートカード認証*

注意

Web Interfaceサイトでは、スマートカードによる認証がサポートされていません。

Citrix Receiver for Androidは次の製品および構成をサポートするようになりました。

サポートされるスマートカードリーダー：

- BaiMobile 3000MP Bluetoothスマートカードリーダー

サポートされるスマートカード：

- PIVカード
- Common Access Card

サポートされる構成：

- StoreFront 2または3およびXenDesktop 5.6以降またはXenApp 6.5以降があるNetScaler Gatewayに対するスマートカード認証
- Web Interface 5.4.2およびXenDesktop 5.6以降またはXenApp 6.5以降があるNetScaler Gatewayに対するスマートカード認証

注意

RADIUSを使用してほかのトークンベースの認証ソリューションを設定できる場合があります。SafeWordトークン認証について詳しくは、eDocsで適切なNetScaler Gatewayエディションの「SafeWord認証の構成」に関するトピックを参照してください。

仮想アプリケーションおよび仮想デスクトップへのアクセス方法

Jan 20, 2017

XenAppまたはXenDesktop展開からアプリケーションやデスクトップを配信するため、Citrix ReceiverはWeb InterfaceまたはStoreFrontのいずれかを構成する必要があります。

Web Interface

Web Interfaceでは、XenApp Servicesサイト（旧称「Program Neighborhoodエージェントサービスサイト」）とXenApp Webサイトという2種類のWebサイトを作成できます。これらのWeb Interfaceサイトにより、ユーザーデバイスがサーバーファームに接続できるようになります。

StoreFront

StoreFrontをCitrix Receiverへの認証およびリソース配信を提供するように構成して、XenAppおよびXenDesktopを介してデスクトップやアプリケーションを、またXenMobileを介して所属する組織のため準備したWorkモバイルアプリおよびモバイルアプリをユーザーに配信する一拠点のエンタープライズリソースストアを作成することができます。

Citrix ReceiverとWeb InterfaceサイトまたはStoreFrontストア間の認証は、次の方法で処理できます。

- ファイアウォールの内側のユーザーは、Web InterfaceまたはStoreFrontに直接接続できます。
- ファイアウォールの外側のユーザーはNetScaler Gateway経由でStoreFrontまたはWeb Interfaceに接続できます。
- ファイアウォールの外側のユーザーはNetScaler Gateway経由でStoreFrontに接続できます。

ここでは次のことについて説明します。

[NetScaler Gateway経由の接続](#)

[StoreFrontへの接続](#)

[Web Interfaceへの接続](#)

NetScaler Gateway経由の接続

以下へのアクセスに対して、Citrix Receiver for AndroidによりNetScaler Gateway 10および11がサポートされます。

- Web Interface 5.4 XenApp ServicesサイトおよびXenApp Webサイト
- StoreFront 2.6、3.0、3.5、3.6、3.7、3.8ストア

Web InterfaceサイトおよびStoreFrontでは、1要素認証および2要素認証がサポートされます。

単一の仮想サーバー上で複数のセッションポリシーを作成して、接続の種類（ICA、CVPN、またはVPN）やReceiverの種類（Web ReceiverまたはローカルインストールのCitrix Receiver）に応じて異なる設定を適用できます。すべてのポリシーを単一の仮想サーバーで作成できます。

ユーザーがCitrix Receiver上でアカウントを作成するときに、アカウントの資格情報としてメールアドレスまたはNetScaler GatewayサーバーのFQDNを入力する必要があります。たとえば、デフォルトのパスで接続できない場合、ユーザーはNetScaler Gatewayサーバーのフルパスを入力する必要があります。

XenMobileに接続するには：

リモートのユーザーがNetScaler Gatewayを介してXenMobile展開に接続できるようにするには、AppControllerまたはStoreFront（共にXenMobileのコンポーネント）と通信するようにNetScaler Gatewayを構成します。このアクセスを有効にする方法は、XenMobileのエディションによって異なります。

XenMobile Server 9へのアクセスの有効化：

クライアント証明書認証

XenMobile Server 10へのアクセスの有効化：

NetScaler GatewayとXenMobile

ネットワークにXenMobileを展開する場合、XenMobileとAppControllerを統合することでリモートユーザーのAppControllerへの接続が可能になります。ユーザーは、AppControllerに接続してWebアプリケーション、SaaS（Software as a Service）アプリケーション、およびモバイルアプリケーションを取得したり、ShareFileで共有されているドキュメントにアクセスしたりします。ユーザーは、Citrix ReceiverまたはNetScaler Gateway Plug-inを使用して接続を行います。

ネットワークXenMobileを展開する場合、NetScalerとStoreFrontを統合することでNetScaler Gatewayを経由して内部ユーザーやリモートユーザーがStoreFrontに接続できます。ユーザーは、StoreFrontに接続してXenAppの公開アプリケーションやXenDesktopの仮想デスクトップにアクセスします。ユーザーは、Citrix Receiverを使用して接続を行います。

ユーザーにWindowsアプリケーションやカスタムアプリケーションを展開するには、MDX Toolkitを使ってアプリケーションをラップする必要があります。詳細は、以下を参照してください。

MDX Toolkit

StoreFrontへの接続

Citrix Receiver for Androidは、WebブラウザーがReceiver for Webと連携している場合、セッションの開始をサポートしません。セッションが開始しない場合、Receiver for Androidを介して直接アカウントを構成してください。

ヒント

Citrix Receiver for Webをブラウザで使用する場合、.ICAファイルがダウンロードされる際にセッションは自動で開始されません。セッションを開始するには、.ICAファイルがダウンロードされた後すぐに手動で開く必要があります。

StoreFrontで作成するストアは、Citrix Receiverのリソース配信インフラストラクチャと認証を提供するサービスにより構成されます。このストアにより、XenDesktopサイトおよびXenAppファームからデスクトップとアプリケーションが列挙および集約され、これらのリソースをユーザーが使用できるようになります。

独自のReceiver for Androidダウンロードサイトを作成する管理者用に、テンプレートが提供されています。

XenAppやXenDesktopのアプリケーションと同様の手順で、StoreFront用にストアを構成します。ユーザーのモバイルデバイス側で特別な構成を行う必要はありません。以下のいずれかの方法を使用します。

プロビジョニングファイル。管理者は、ストアに接続するための詳細が定義されたプロビジョニングファイル（CRファイル）をユーザーに提供します。デバイスにCitrix Receiverをインストールした後で、提供されたCRファイルをユーザーが開くとReceiverが自動的に構成されます。Receiver for Webサイトのデフォルトでは、そのサイトの単一ストア用のプロビジョニングファイルがユーザーに提供されます。または、管理者がCitrix StoreFront管理コンソールで単一または複数のストア用のプロビジョニングファイルを生成して、それらをユーザーにメールなどで配布することもできます。

ユーザーによる構成。デスクトップやアプリケーションにアクセスするには、NetScaler GatewayまたはストアURLが必要であることをユーザーに直接知らせることができます。NetScaler Gatewayを経由する接続の場合、ユーザーは製品のエディションと必要な認証方法についても把握する必要があります。インストール後、Citrix Receiverにこれらの詳細を入力し、接続が検証され手これに成功したら、ログオンを求められます。

Citrix Receiverでのアプリへのアクセスを構成するには

新しいアカウントを作成するには、[Address (アドレス)] ボックスに、ストアのURLを「storefront.organization.com」のように入力します。

そのほかの必要な情報を入力し、セキュリティトークンを有効にしたり認証の種類を選択したりするなど、NetScaler Gatewayの認証方法を選択して設定を保存します。

自動構成を使用してアカウントを追加する場合、StoreFrontサーバーまたはNetScalerのFQDNを入力するか、メールアドレスを使用して新しいアカウントを作成できます。アカウントを作成すると、ログイン前にユーザー認証を入力して入ることができるようになります。

追加情報：

NetScaler Gatewayを介したStoreFrontへのアクセスの構成については、以下を参照してください。

[NetScaler Gatewayを介したStoreFrontへのアクセスの管理](#)

[NetScaler GatewayとStoreFrontの統合](#)

Web Interfaceへの接続

Citrix Receiverでは、既存のWeb Interfaceサイトを使用してアプリケーションを起動できます。管理者は、ほかのXenAppおよびXenDesktopアプリケーションおよびデスクトップと同じ方法でWeb Interfaceサイトを設定できます。ユーザーのモバイルデバイス側で特別な構成を行う必要はありません。

Citrix Receiverは、Web Interface Versions 5.4のみをサポートします。Web Interface 5.4を使用する場合、ユーザーはモバイル版のFirefoxからアプリケーションを起動できます。

Androidデバイス上でアプリケーションを起動するには：

デバイスから、通常のアカウント情報を入力してWeb Interfaceサイトにログインします。

Web Interfaceサイトの構成については、以下を参照してください。

[Web Interfaceの構成](#)

SDカードへのCitrix Receiverのインストール

Jan 20, 2017

Citrix Receiver for Androidは、ユーザーデバイスへのローカルインストールに最適です。ただし、デバイス上のストレージ領域が不足している場合は、外部SDカード上にReceiverをインストールできます。この場合、そのSDカードをモバイルデバイスにマウントして、公開アプリケーションを起動します。この機能はデフォルトでサポートされており、追加構成は不要です。

SDカードを使用してアプリを起動するには、ユーザーデバイスでReceiverアプリ一覧から起動するアプリを選択して、[SDカードへ移動] を選択します。

外部SDカード上にReceiverをインストールしてアプリを起動する場合、以下の問題が生じることがあります。

- モバイルデバイス上にSDカードをマウントした状態でUSBストレージデバイスをマウントすると、SDカードを使用できなくなります。このため、実行中のアプリが停止します。
- SDカードからアプリを実行している間、一部のApp Widget（ホーム画面のウィジェットなど）を使用できなくなります。ユーザーは、SDカードのマウントを解除した後で、App Widgetを再起動する必要があります。

ユーザーがReceiverをローカルにインストールした場合、必要に応じてReceiverをSDカード上に移動することができます。

スマートカードサポートの有効化

Jan 20, 2017

Receiver for Androidでは、Bluetoothで接続したスマートカードリーダーを使用してStoreFront、Webインターフェースのサイト、またはPNAサイトにアクセスできます。スマートカードのサポートを有効にすると、以下の機能が有効になります。

- スマートカードによるログオン認証。Receiverのユーザーをスマートカードを使って認証します。
- スマートカード対応アプリケーションのサポート。スマートカード対応の公開アプリケーションを使って、ローカルのスマートカードリーダーにアクセスできます。
- ドキュメントおよび電子メールへの署名 ICAセッション内で起動するMicrosoft WordやOutlookなどのアプリケーションからスマートカードにアクセスして、ドキュメントやメールにデジタル署名を追加できます。

サポートされているスマートカード：

- PIVカード
- Common Access Card

デバイス上でのスマートカードサポートの構成

1. ユーザーは、モバイルデバイスでスマートカードリーダーを使用できるように構成する必要があります。構成方法については、スマートカードリーダーのドキュメントを参照してください。たとえば、baiMobile Bluetooth Smart Card Reader 製品をAndroidデバイスで使用できるようにする方法については、<https://www.biometricassociates.com/downloads/user-guides/baiMobile-3000MP-User-Guide-for-Android-v3.2.pdf>を参照してください。

Androidデバイスでのスマートカードのサポートでは、以下の要件および制限事項があります。

- Receiverでスマートカードを使用する場合、Biometric Associates社でサポートされるすべてのAndroidデバイスがReceiverでもサポートされます。詳しくは、<http://www.biometricassociates.com/products/smart-card-readers/android-supported-devices/>を参照してください。
 - スマートカードを使用する場合、グローバルPINを使用することはできません。PIV PINを入力してください。これはサードパーティの制限事項によるものです。
 - スマートカードでの認証にパスワード認証よりも時間がかかることがあります。このため、セッションから切断した後に再接続する場合は、切断後約30秒待機してください。セッションからの切断直後に再接続を試行すると、Receiverが動作しなくなることがあります。
 - WebブラウザやXenAppサイトを使用したアクセスでスマートカード認証はサポートされません。
2. スマートカードを使用するアカウントを追加する前に、AndroidデバイスにAndroid PC/SC-Liteサービスをインストールします。このサービスは、baiMobile SDKにAPK (.apk) ファイルとして付属しています。Androidの場合、Google Play StoreからPC/SC-Liteのapkファイルをダウンロードできます。
 3. Receiverの [設定] アイコンをタップして、[アカウント]、[アカウントの追加] の順に選択するか、既存のアカウントを編集します。
 4. 接続を構成し、スマートカードのオプションを有効にします。

RSA SecurID認証のAndroidデバイス用の設定

Jan 20, 2017

NetScaler GatewayのRSA SecurID認証を設定すると、Citrix ReceiverでNext Tokenモードがサポートされます。このモードを有効にすると、ユーザーが不正なパスワードを3回（デフォルト設定）入力したときに、NetScaler Gateway Plug-inにより、次のトークンが表示されるまで待つからログオンするように求めるメッセージが表示されます。ユーザーが不正なパスワードで何度もログオンしようとした場合に、そのユーザーのアカウントが無効になるようにRSAサーバーを設定できます。

認証の構成について詳しくは、「[Authentication and Authorization](#)」を参照してください。

ヒント

RSA SecurID認証は、Secure Gatewayを使用する構成ではサポートされません。RSA SecurIDを使用するにはNetScaler Gatewayを使用してください。

RSA SecurIDソフトウェアトークンのインストール

RSA SecurID Software Authenticatorファイルの拡張子は、「.sdtid」です。このファイルを、RSA社の変換ツール（RSA SecurID Software Token Converter）を使用してXML形式の81桁の数値に変換します。RSA SecurID Software Token Converterのダウンロードおよび使用方法については、RSA社のWebサイトを参照してください。

以下の手順でトークンファイルを変換します。

1. モバイルデバイスではなくコンピューターを使用して、<ftp://ftp.emc.com/pub/agents/tokenconverter310.zip>からRSA SecurID Software Token Converterをダウンロードします。Webサイトおよび変換ツールに付属のReadmeの説明に従って、トークンファイルを数値に変換します。
2. 変換された数値をメールにコピーして、ユーザーのモバイルデバイスに送信します。
3. デバイスの日時設定が正確であることを確認してください。この設定が正確でないと、認証が行われません。
4. デバイスでメールを開き、ソフトウェアトークンをインポートするためのリンクをクリックします。

モバイルデバイスにソフトウェアトークンをインストールすると、[設定] にトークンを管理するためのオプションが追加されます。

注意

SDT ID (.sdtid) ファイルをReceiverに関連付けられないモバイルデバイスでは、拡張子を.xmlに変更してからインポートしてください。

Androidユーザーへのアクセス情報の提供

Jan 20, 2017

管理者は、ユーザーにReceiverアカウントの情報を提供します。ユーザーは、この情報を使用してアプリケーション、デスクトップ、およびデータにアクセスします。次の方法でユーザーに情報を提供できます。

- メールアドレスによるアカウント検出を構成する
- ユーザーにプロビジョニングファイルを提供する
- アカウント情報をユーザーに手入力させる

メールアドレスによるアカウント検出を構成する

管理者は、メールアドレスによるReceiverアカウントの検出機能を構成できます。この機能を有効にした場合、ユーザーはReceiverの初期設定時にサーバーのURLの代わりに自分のメールアドレスを入力できます。DNS (Domain Name System) サービス (SRV) レコードにより、そのメールアドレスに関連付けられているAccess GatewayまたはStoreFrontサーバーが自動的に検出され、ホストされているアプリケーション、デスクトップ、およびデータにアクセスするためのログオンを求め、メッセージが表示されます。

注意

Citrix ReceiverでWeb Interfaceに接続する環境では、メールアドレスによるアカウント検出がサポートされません。

メールアドレスによるReceiverアカウントの検出機能が正しく動作するようにDNSサーバーを構成する方法については、「[メールによるアカウント検出を構成する](#)」を参照してください。

ユーザーが入力したメールアカウントによりStoreFrontまたはAccess GatewayのURLが正しく検出され、Access Gatewayに接続できるように構成する方法については、NetScalerドキュメントの「[Connecting to StoreFront by Using Email-Based Discovery](#)」を参照してください。

ユーザーにプロビジョニングファイルを提供する

管理者は、StoreFrontを使用して、接続の詳細情報を定義したプロビジョニングファイルを作成できます。作成したプロビジョニングファイルをユーザーに提供して、Receiverを自動的に構成できるようにします。デバイスにReceiverをインストールした後で、提供されたCRファイルをユーザーが開くとReceiverが自動的に構成されます。Receiver for Webサイトを構成する場合は、そのサイトからユーザーにReceiverのプロビジョニングファイルを提供することもできます。

詳しくは、[StoreFront](#)のドキュメントを参照してください。

アカウント情報をユーザーに手入力させる

ユーザーが手動で入力するアカウント情報を提供している場合は、以下の情報を指定しておく必要があります。

- StoreFront URLまたはXenApp Servicesサイトホスティングリソース。例：servername.company.com。
- Access Gatewayを使用する場合は、そのアドレスと認証方法。
NetScaler Gatewayの構成について詳しくは、[NetScaler Gateway](#)のドキュメント、または[XenApp](#)のドキュメント (Secure Gatewayの場合) を参照してください。

ユーザーが新しいアカウントの詳細を入力すると、Citrix Receiverにより接続が検証されます。検証に成功すると、そのアカウントにログオンするための画面が開きます。

パスワードの保存

Jan 20, 2017

Citrix Web Interface管理コンソールでは、認証時にユーザーがパスワードを保存することを許可できます。管理者がユーザーのアカウントを設定すると、パスワードが暗号化され、そのユーザーの初回接続時まで保存されます。

- ユーザーによるパスワードの保存を許可すると、パスワードがデバイス上に格納され、アプリケーションへの再接続時にパスワードの再入力が不要になります。

ヒント

パスワードが保存されるのは、ユーザーがアカウントを作成するときにパスワードを入力した場合のみです。アカウントのパスワードが入力されていない場合は、サーバー側の設定にかかわらずパスワードは保存されません。

- 管理者がパスワードの保存を無効（デフォルト設定）にすると、接続時に常にパスワードの入力が必要になります。

注意

StoreFront接続では、パスワードを保存することはできません。

パスワード保存設定を上書きするには

サーバー側でパスワードの保存を有効にしても、ユーザーは以下の方法でパスワードの入力が毎回要求されるように設定できます。

- アカウント作成時に、パスワードフィールドを空白のままにする。
- アカウント編集時に、パスワードを削除して設定を保存する。

Citrix Receiver設定の変更

Jan 20, 2017

[設定] タブで、次の設定をカスタマイズできます。

- **表示**
 - セッションの解像度：セッションの解像度を選択します。デフォルトは [画面に合わせる] です。
- **キーボード**
 - 予測入力：文字列の予測入力を有効または無効にします。デフォルトは、 [Off] です。
 - 拡張キーボード：拡張キーボードを有効または無効にします。デフォルトは、 [Off] です。
 - 拡張キー：AltやCtrlなど、特殊キーを拡張キーボードの一部として表示するように構成します。
 - クライアント側IME：クライアント側IMEが有効な場合、ユーザーが入力する文字列は、別ウィンドウではなく入力ポイントに直接入力されます。デフォルトは、 [Off] です。
- **オーディオ**
 - オーディオストリーム：セッション内でのオーディオ設定を [オーディオ:オフ]、 [再生]、 [再生と録音] のいずれかとして構成します。デフォルトは [再生] です。
- **詳細設定**
 - デバイスストレージの使用：デバイスストレージへのアクセスを許可します。デフォルトは、 [アクセスなし] です。
 - 終了する前に確認：終了する前の確認について構成します。デフォルトは [On] です。
 - クリップボード：クリップボードの使用を有効または無効にします。デフォルトは、 [Off] です。
 - 画面の向き：表示の向きを [横]、 [縦]、または [自動] (動的) に構成します。デフォルトは [自動] です。
 - 画面の常時表示：デバイスの表示をオンのままにします。デフォルトは、 [Off] です。
- **サポートされるTLSバージョン**：1.0、1.1、1.2。使用される実際のTLSレベルは、サイトがサポートする最新バージョンです。
- **バージョン情報**：Citrix Receiverのバージョンおよび著作権情報です。

デモ用のサイトを試用する

Jan 20, 2017

Citrix Receiverを初めて起動すると、[ようこそ] ページが開き、Citrix Cloudのデモ用アカウントを作成するためのオプションが表示されます。このアカウントを使用して、Citrix Cloudを試用できます。

デモ用アカウントを作成するには、ユーザーが名前およびメールアドレスを入力して登録操作を行う必要があります（一部デバイスではメールアドレスが自動的に入力されます）。Citrix Cloudのデモサイトにはいくつかの構成済み公開アプリケーションが用意されており、Citrix Receiverですぐにそれらのアプリケーションを使用できます。

ユーザーは、Receiverを使用してアカウントを追加、変更、および削除できます。